

## 平成 23 年度 第 5 回経営協議会議事録

日 時 平成 24 年 1 月 27 日（金） 14 時 00 分～16 時 10 分

場 所 事務局大会議室

出席者 石川、石村、伊藤、北原、草間、杉田、  
伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山の各委員

欠席者 川勝、松井の各委員

陪席者 大戸監事、塩田監事  
中村、村井、佐藤、木村の各学長補佐

### I 前回議事録の承認について

平成 23 年度第 3 回経営協議会議事録（案）及び平成 23 年度第 4 回経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 中期目標・中期計画の変更について

浅利委員から、平成 24 年度において組織整備が認められたことに伴う中期目標・中期計画の変更について、資料 1 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 2 目的積立金の使途計画等について

山崎委員から、目的積立金の使途計画等について、資料 2 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

（意見交換で出された主な意見等）

〔⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等〕

⊕：余剰金が発生しなければ、トイレの改修等の施設整備は実施できないのか。

△：当該改修等は、マスタープランに計上されており、目的積立金により前倒しで執行するものである。

⊕：目的積立金申請額が減額されることはあるのか。

△：財務省の審査・承認事項であり、減額される可能性はある。

⊕：承認されない場合は国に返納するのか。

△：最終的に国庫に返還することになる。

⊕：予算どおり執行していれば、余剰金は発生しないのではないのか。

△：人事院勧告の実施等の影響もあり、余剰金が発生しているが、今後は、業務達成基準の導入により余剰金が大きく発生しない方向となる。

⊕：決算時まで余剰金が発生するかどうか分からないのか。

△：四半期毎に、セグメント別に予算執行状況をチェックするとともに、早期執行の通知を行っているが、人件費の影響もあり、結果として余

剰金が発生した。

⊕：大型機器の更新等は、どのように計画しているか。

△：機器マスタープランに基づき、大型機器は概算要求で、小型のものは学内措置で対応している。

### 3 第二期中期目標期間中の財務運営について

山崎委員から、第二期中期目標期間中の財務運営について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(意見交換で出された主な意見等)

[⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等]

⊕：非常勤講師の扱いはどのようになっているのか。

△：第二外国語は非常勤講師で対応している。

⊕：学長裁量経費による特筆すべき取組みがあれば紹介願いたい。

△：若手研究者に対する支援、授業料免除、東日本大震災被災者に対する経済的支援等の措置を行った。

⊕：人事評価の処遇への反映はどのようなものか。

△：次回以降に資料を準備して説明したい。

⊕：地方自治体との連携はどのようになっているか。

△：「はままつデジタルマイスター養成プログラム」に浜松市から支援を受けているほか、静岡市等と連携した「駿河湾プロジェクト」等を展開している。

## Ⅲ 報告事項

### 1 前受授業料の解消について

山崎委員から、前受授業料の解消について、資料4により報告があった。

### 2 平成24年度予算予定額の概要について

山崎委員から、平成24年度予算予定額について、資料5により説明があった。

(意見交換で出された主な意見等)

[⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等]

⊕：産学官、医療関係者には、医学部のないためか魅力がないように思われているが、人文学部をはじめ関係する分野は多いので、当該分野への係りについて学内議論していただきたい。

⊕：大学機能強化等国策に対応することが必要である。

△：今後、検討していくこととしたい。

### 3 静岡大学サポーターズクラブの創設及び静岡大学未来創成基金の設置について

山崎委員から、静岡大学サポーターズクラブの創設及び静岡大学未来創成

基金の設置について、資料6により報告があった。

(意見交換で出された主な意見等)

[Ⓔ：学外委員の意見等]

Ⓔ：サポーターズクラブと基金寄附者について、さらに連携を強められ  
ないか検討願いたい。

Ⓔ：息長く維持できる方策を検討願いたい。

Ⓔ：寄附者への感謝を示す方法については、さらに議論する必要がある。

#### 4 経営協議会学外委員から出された意見等への対応について

議長から、経営協議会学外委員から出された意見等への対応について、資料7により報告があった。

### IV その他

#### 1 その他

石井委員から、1月14日に実施された大学入試センター試験(第1日目)における試験問題の配付ミスについて説明があり、再発防止案を検討したいとの発言があった。

以上